

起ちなはれ

もし 人が 今でも 万物の霊長やというのやったら
こんな酷^こたらしい毒だらけの世の中 ひっくり返さなあきまへん
なにが文明や

蝶^{とんぼ}や蜻蛉^{とんぼ}や蚩^しや 蜆^{しじみ}や田螺^{たし}や雁^{がん}や燕^{つばめ}や、ドジョウやメダカやゲンゴロイやイモリや
数も知れん生きものを殺しておいて

首は坐らん目は見えん 耳は聞こえん口きけん 味は分からん手で持てん足で歩けん
——そんな そんな苦しみを水俣の赤ちゃんにおしつけといて

大腸菌かて棲めん海にしてしてもて
なにが高度成長や なにが百年一度の万博や

貧乏がなんどす え 思い出しなはれ

知らん人には 今どきの若い者^もには教えてあげなはれ

お芋の葉^ア食べたかて 生きてきたやおへんか

そのかわりに 青い空には眩^まいお陽^ひさん

蝉^{せみ}しぐれの樹蔭^{こかげ}は風の涼しうて あの緑と草いきれと綺麗な川と池と海と……

そや 昭和二十年敗戦の夏 大阪湾の芦屋の浜で

今はチヨコレートみたいな海になつてる あの大坂湾で

小っちゃい鯛^{たい}やら河豚^たやら 手でとれた

そんな中で なあ にんげんは ぎょう山^{さん}の生類^{しょうるい}といっしょに生きておったんやて
教えてあげなはれ —— 思い出さんかい

もし あんたが 人やったら

起ちなはれ 戦いなはれ

公害戦争や 水俣戦争やでえ

戦争のきらいなわし等のやる戦争や 人間最後の戦争や 正念場や

勝たな あかん 勝ちぬかな

——子どものために 孫のために 親のために 先祖のために

そうしてこの自分自身のために 一度しかない人生のために

……負けたら?

負けたら一巻の終りや 生殺^{なまころ}しの毒地獄や

数も知れんほどぎょう山^{さん} お仲間の生類殺した霊長はんなあ そのかわりに

ビニールやら ギッチャギッチャした油やら エントツやらクルマやらテレビやら

数も知れんほどぎょう山^{さん}のガラクタ残して

この地球から 綺麗な青い星から

消えてしまうだけのハナシや

鳥の見た苦海浄土 水保-昭和二十八年
砂田明欄人紙・増刊号・水保浄湯堂不知火

新年...ではございます。
年々、年頭の祝詞が述べづらく
なり、わけて今年は一ひとほです。
せめてご挨拶かわりにもと、二十年か
の水保を精一杯丹念に描いてみました。

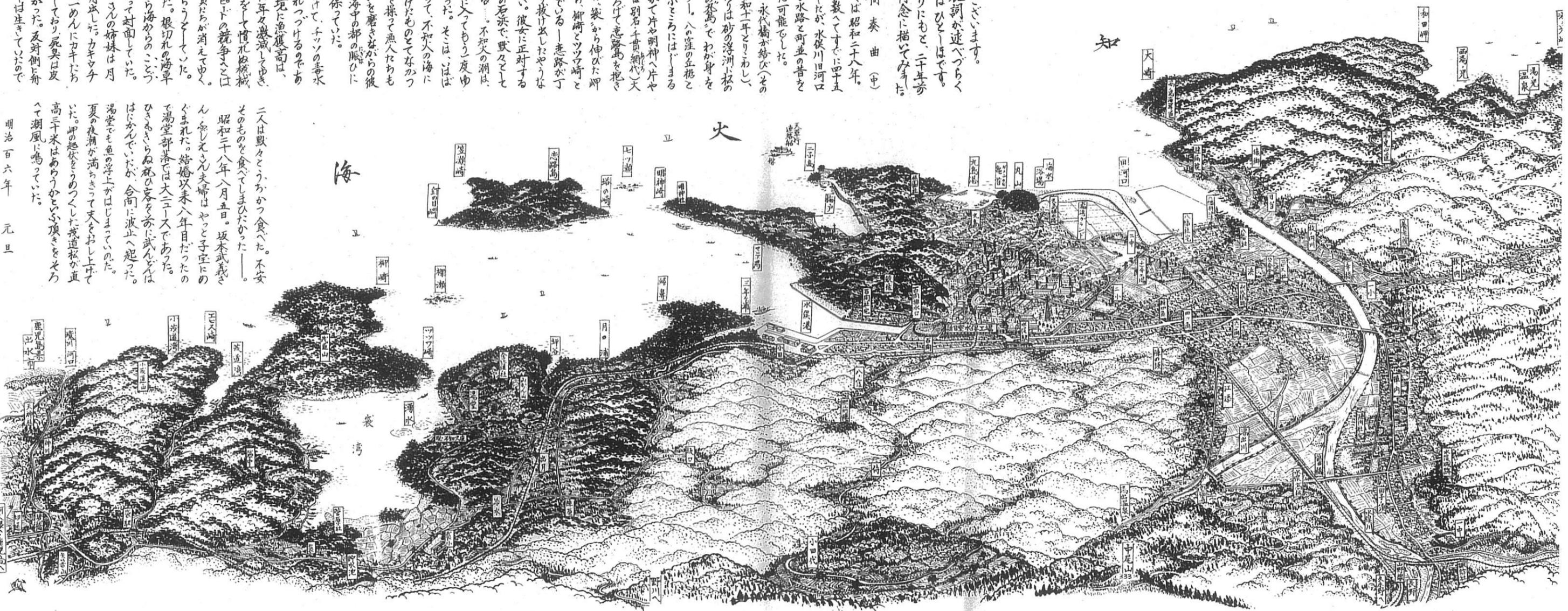
間奏曲 (中)

明治八十年といへば昭和二十八年。
チソンの侵入から数えてすでに四十五
年を経過してはしましたが、水保川河口
を通して、そこに到る水路と河並の昔を
透し見ることはまだ可能でした。
— 浜と江添を永代橋が結び、その
橋は明治36年完成昭和十一年よりわし、
湖みちの八幡社あたりは砂の浮洲小松の
緑、丸山、そかつての茶馬でわが身を
波に映していたのらうし、八の窪の五根と
幾佐の橋とが離れ合ふところには、いまも
石間の源、入江は、やがて片や明神、片や
縁岸へと(かまきはなは別名千貫網代)天
まく西院を伸ばしひらけて志路島を抱き
とりうと、一方、袋から伸びた岬
は根瀬にせかれながら、柳崎とツツワ崎と
でやはり彼女を望んでいる—志路が丁
度、袋湯からすぼり抜け出したやうな
島なのだから無理もなし、彼女に正対する
月の浦は、忍ぶ志路の石浜で、黙々と七
西あけの風に耐えている。不知火の湖は、
島の両側からこの海城に入つてもう一度ゆ
るく回遊するのであった。そこは、はは
魚だわのみやこであつて、不知火の海に
息する生類のうち欠けたものとしてなかつ
た。櫓操と帆走で舟を操りて漁人たわも
集る。腕を旋ひカンを磨きながらの彼
らの眩しい漁粉は、海中の都の賑ひに
対して精妙な調和を保つていた。

まさにこの海城へかけて、チソンの毒水
は放流され、放流されつづける。ある
る。昭和二十八年を境に漁獲高は、
海の底がぬけたやうに年々激減しゆき、
焦った漁師たちは無理をして憎れぬ機械
舟を入れ、馬カとスビトの競争をこほ
しつづけるのだった。貝だらが消えてゆく
それが珍しくなくなつてしまつた。
魚の浮上もさうだった。根切れの海草
が漂流しはじめ、それら海からのこづ
で、漁師はおしたまふ封鎖してはいた。
根本トミエさん、良子さんの姉妹は月
の浦を指をこいで舟出した。カキヤチ
に、志路の陸側の岩場へめんにかきたあ
は、ごろり膿汁をたらしてあり、死臭は皮
膚にはりつくほどよかつた。反対側舟
をまわすこそこのカキは生きていたので

二人は黙々と、うかつ食へた。不安
そのものを食へてしまひたかつた。
昭和二十八年八月五日。坂本武義さ
んをいへさん夫婦は、やつと子宝にの
ぐまされた。結婚以来八年目だったの
で湯堂部番では大ニースであつた。
ひさきらぬ祝ひを赤い武んをんは
はにかんで、合向に波止へ起つた。
湯堂でも魚の浮上かはじまつていた。
夏の夜潮が満ちきつて夫をおし上り、
いた。岬の起伏をのつくした我道松か直
高三十米はあらうかといふ頂きをそろ
へて湖風に鳴つていた。

明治百六年 元旦





水俣一町と公害の略史

チエルのブイリが教えた。東海村は遠くない！

905 (延喜式) 一延喜式に水俣記載II交通の要衝。
 1667 (寛文7) 現百間水門から干拓して製塩業開始。
 1840 (天保11) 肥後藩の名所に、袋の浦 選ばれる。
 1877 (明治10) 西南戦争。水俣の山岳部で激戦あり。
 1889 () 水俣村誕生。人口は12303人。
 1909 () 42 石灰窯工場が完成。肥後線全通す。
 1910 () 43 233年続いた製塩業が廃止となる。
 1912 (大正1) 12 水俣町となる。戸数は3700。
 1916 () 5 水俣工場大拡張。資本金1千万円に。
 1925 () 14 漁業組合が工場に汚水被害補償要求。
 1926 () 15 チソンは植民地朝鮮へ進出を始める。
 1931 (昭和6) 9月満州事変。11月天皇が工場視察。
 1932 () 7 有機合成化学工場に転換し、百間水門へアセトアルデヒド廃水の無処理放出が始まる。
 1939 () 14 塩化ビニールの試験製造が始まる。
 1943 () 18 魚業被害深刻。工場は保償金支払う。
 1945 () 20 空襲により工場壊滅。10月生産再開。
 1946 () 21 アセトアルデヒド再再開。汚水百間へ。
 1949 () 24 塩化ビニール製造再開。汚水百間へ。
 1949 () 24 百間港浸漬が県営で着工。4 水俣市誕生II 8476戸、42270人。6月再び天皇工場視察。
 1951 () 26 魚具類、海草の被害が目立ち始める。
 1953 () 28 工場内に創業者野口道徳の銅像除幕。
 1956 () 31 5 水俣病認定患者第1号！
 1959 () 34 7 22 熊大研究室「有機水銀説」発表。
 1962 () 37 7月、全市を二分し安賃闘争始まる。
 1964 () 39 東京で五輪音頭、新潟で第二水俣病。侯病提議。9 26 政府15年目にしよぶ公害認定。
 1969 () 44 1月石牟礼道子「苦海浄土」発刊。
 1970 () 45 全国に反公害の住民運動おこる。7月東京 水俣巡礼団が熊本地裁前で患者と合流！
 1973 () 48 3 20 原告勝訴。5月有明海に第三水俣病。7月補償協定書成る。12月オイルショック。
 1975 () 50 9月患者3名カナダ水俣病現地交流。
 1976 () 51 不作為違法確認訴訟で原告患者勝訴。
 1979 () 54 3 28 水俣病二次訴訟で原告勝訴判決。
 1980 () 55 関西訴訟開始。国、県、チソソ相手。
 1983 () 58 ヘド口処理工事。水俣湾で試験浸漬。
 1985 () 60 8月患者浜元氏らインドネシア訪問。
 1986 () 61 公式確認30年。アジア民衆環境会議。
 1987 () 62 2月水俣せつけん工場(代表田上義春)完成。3 20 三次訴訟判決で国・県の責任確定。

水俣一乙女塚のあゆみ

79 78 (昭53) 水俣病互助会々々長田上さん、自給農園入手。
 54 () 3 20 農園内に乙女塚建立地点確定。獄入式。
 5 () 1 乙女塚農園と命名。砂田明・エミ子入植。8月寛文石仏安置。11 21 勸進一人芝居が発足。福岡
 80 () 55 2 18 24 浅草木馬亭の勸進芝居が大当り。福岡
 4月釜ヶ崎原爆被爆者の会が勸進元となり現地上演。
 8月原水禁沖純大会上演。以後夫婦勸進に。
 81 () 56 1月、紀伊国屋演劇賞「特別賞」を受賞。
 5 1 水俣病公式確認25周年記念日に乙女塚の落慶
 供養。6月ベラウ共和国から母親三人を招待する。
 8 29 第1回例祭。沖繩からシーサーが奉納される。
 82 () 57 海の母子像との出会い。沖繩非核村説谷で。8月、タイ他アジア5カ国の青年らみんなの家に。
 9 17 第2回例祭。患者さんら「石童丸」を上演。
 83 () 58 3月海の母子像キャンペーン開始。12都市。4月スリランカ他4国のアジア青年合宿。8月アジア9カ国の青年演劇祭に招かれてマニラで上演。
 9 3 第3回例祭。母子像除幕。広島被爆瓦を奉納。
 84 () 59 5月狩野浪子さん入植して「不知火窯」火入れ。インドネシア水俣視察団グループ合宿。
 8 26 第4回例祭。長崎から岡津津代さん被爆瓦を奉納。10月「鎮魂歌」長崎初演。被爆者多数共演。
 85 () 60 3 20 「鎮魂歌」広島大田川畔上演。8月韓国訪問II公害の慰山視察。神学大学他にて上演。
 87 86 () 61 9 4 第6回例祭。新野外舞台コケラ落し。
 () 62 4 18 立教大学上演で一人芝居は400回に。

一切衆生悉有仏性—みなまた乙女塚縁起 (一九八四年八月二五日)

生類合祀 一切の生きとし生けるものは、幸福であれ、安泰であれ、安楽であれ。いかなる生物生類であつても、おびえてゐるものでも強直なものでも、長いものでも、大なるものでも、中位のものでも、短いものでも、微細または粗大なものでも、目に見ざるものでも、見えないものでも、遠くに或いは近くに住むものでも、すでに生まれたものでも、これから生まれようとするものでも、一切の生きとし生けるものは幸福であれ。

海の母子像 海は人の母である。… 郷土の海を守るために闘いぬいた沖繩人。故安里清信のことば。海は人の母である。母のなかに海がある。母のなかに子どもがおり。子どもはなかにまた海があり母があるから。子どもはなかにまた海があり母があるから。海をはらみ母となる子を… 生む。三千世界いらばにひらく。子らの命は海の花。

寛文石仏 供養の仏像。東京・神楽坂法正寺寄贈。母なる海のエッセンスともいふべき天然塩の。

例祭 草まつり II 五月十八日(茶摘み)。火まつり II 八月(旧暦八月一日夜)。清信氏の寄贈。塚守の家には、乙女塚過去帳と共に木彫の慈母地蔵尊(三カ月の胎児を産むお地蔵さん。石本武士刻・寄贈)があり、台座は宮崎県土呂久鉾を体験した大杉である。

碑銘 生類のみやこは、いづくなりや。わが祖は草の親。四季の風を司り。魚の祭を祀りたまへども。生類の忌はすでになし。一石牟礼道子。(天の魚)序詞より

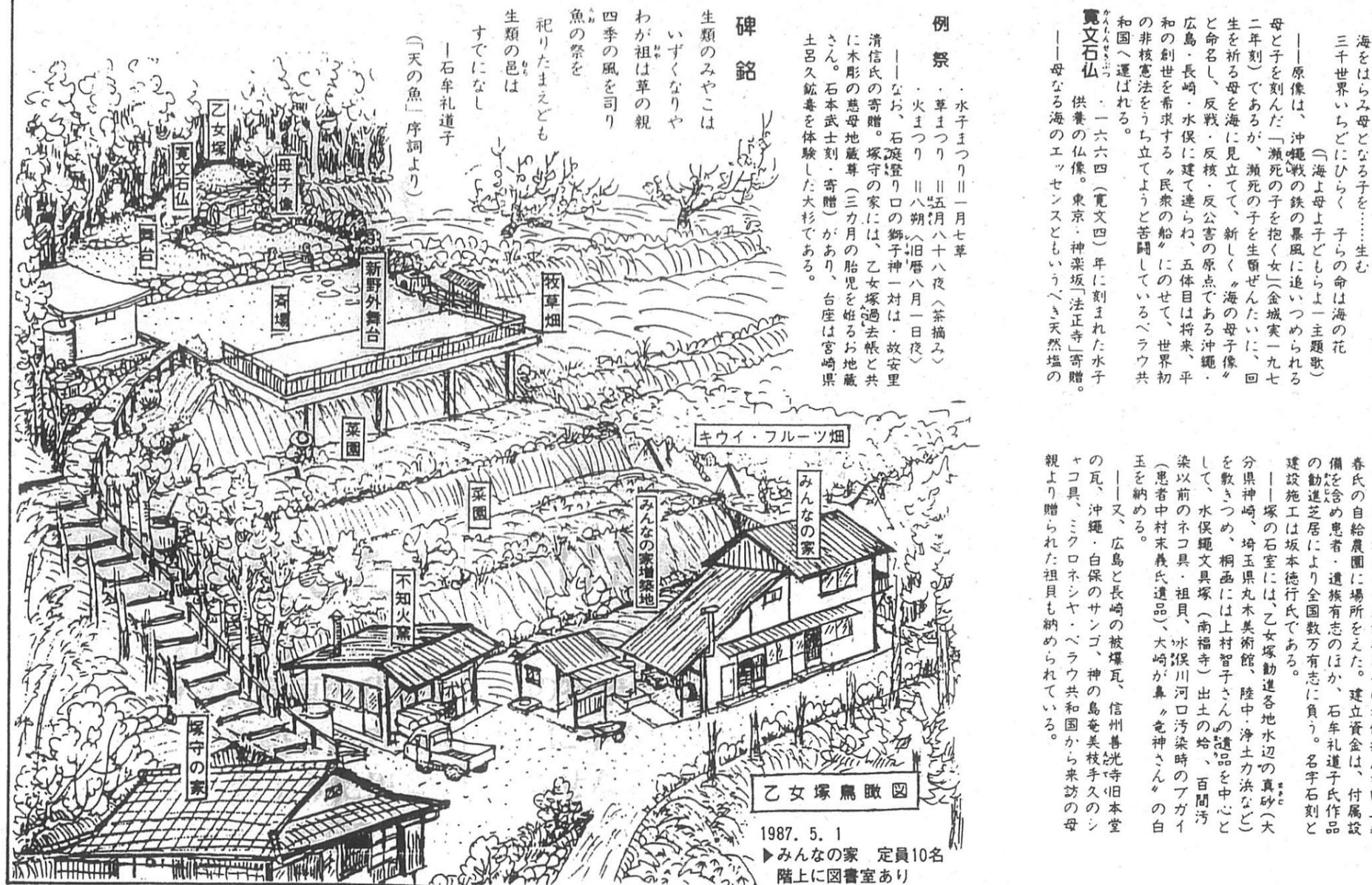
製造は、水俣では寛文六年「百間港」の築堤から始まった。しかし化学工場の進出によって一九一〇(明治四三)年、その歴史は絶たれ、かわりに厄大な産業廃棄物百間水門から放水される毒水により、明麗の海の汚辱と、肥後藩一の砂浜の消失と、ついに生類共苦・狂死の水俣病の悲劇へと暗転していったのである。とりわけ、めでたく胎内に宿りながら母体にとりこまれた激毒メチル水銀等により悶絶した数多くの水子たちの存在こそは、水俣病問題の核心と最暗部を照らすものである。

乙女塚命名 あまつ風雲のかよひ路吹きとじよ。乙女の姿しほしどめむ 僧正・遍照。一家上部の土盛りは、ふくらみ初めた(受胎準備完了を告げる)乙女の胸を象徴する。水俣病公式発見の一九五六(昭和三一)年当時、婚期を迎えていた乙女たちがとりわけ激烈に病み悶死した。又、幼時発症で意識を奪われたまま美しい乙女になった者もある。乙女塚命名の由来は、これらに加えて、胎内発症の奇烈な生を存え、多くの人々に衝撃とともに勇気を与え、おしめを詰められたまま成人式を迎えたあとも間もなく死亡した上村智子さんを記念するところにもある。

乙女塚は、一次裁判原告の水俣病患者田上義春氏の自給農園に場所をえた。建立資金は、付属設備を含め患者・遺族有志のほか、石牟礼道子氏作品の勸進芝居により全国数方有志に負う。名石刻と建設施工は坂本徳行氏である。

一塚の石室には、乙女塚勧進各地水辺の真砂(大分県神崎、埼玉県丸木美術館、陸中・浄土刀法中心)を敷きつめ、桐函には上村智子さんの遺品を中心として、水俣縄文具塚(南福寺)出土の蛤、百間汚染以前のネコ具、祖貝、水俣川河口汚染時のフガイ(患者中村末義氏遺品)、大崎が鼻・竜神さんの白玉を納める。

一又、広島と長崎の被爆瓦、信州善光寺旧本堂の瓦、沖繩・白保のサンゴ、神の島を美枝手久のシヤコ具、ミクロネシア・ベラウ共和国から来訪の母親より贈られた祖貝も納められている。



1987. 5. 1
 ▶みんなの家 定員10名
 階上に図書室あり

いのちのうた 〈海よ母よ子どもらよ・主題曲〉 詩・曲 砂田明

Handwritten musical score for "いのちのうた". It features a guitar accompaniment and a vocal line with lyrics in Japanese. The score includes various musical notations such as chords (e.g., C, G, F, G7, C), dynamics (e.g., f, mf), and performance instructions. The lyrics are written in hiragana and katakana.

① 音型(A)はギター①で演奏する(最終小節は(E))。ギター②はコードでリズムを。
② 三線又はマンドリン

挿歌 《ころぼろぼろ》 詞・曲/砂田明 8/4/11

Handwritten musical score for the interlude "ころぼろぼろ". It includes a guitar accompaniment and a vocal line. The score features a 2/4 time signature and various musical notations. The lyrics are written in hiragana.

① おかしはまはは
② おかしがわべの

いしぎのすもも脚あとも消えて
ああ... (くり返し) ...

ザ・ハンカ「海よ母よ子どもらよ」の歌より
挿歌「ころぼろぼろ」の歌
「ころぼろぼろ」は「いのちのうた」の主題曲の挿歌として収録された。この歌は、母と子の愛情を表現している。歌詞は、母の愛情が子に伝わるまで、母は涙を流すまで、とある。この歌は、母の愛情を表現している。歌詞は、母の愛情が子に伝わるまで、母は涙を流すまで、とある。

一むかし浜辺は愛の揺籃
夢も生まれた生命もうたも
(女声コーラス) 浜辺の歌
いまは真砂も海草も
(流原太郎曲)
波もみからず松風もない...
いしぎのすもも脚あとも消えて
ああ... (くり返し) ...

二むかし川辺の道は花かげ
夢も生まれた希望もうたも
(女声コーラス) 花
いまは土堤も中の洲も
(成田三樹夫)
舟も魚も鳥かたもない...
子どもらの声も虫の音も消えて
ああ... (くり返し) ...

▼前奏小節はギターで烈しく早く
▼最初の「ころぼろぼろ」とラストのコーダ
はトランペットやソプラノサクソフーン等がよい。